

めぐみものづくりの実現へ向けて



移行のご案内

Clayteam



公式ウェブサイト

<https://unit.aist.go.jp/tohoku/clayteam/>

産総研コンソーシアムClayteamは2025年に一般社団法人化します。一般社団法人Clayteamは先進的・高付加価値材料の製品認証や産業振興事業により我が国の材料分野におけるイノベーションを強力に推進します。産総研コンソーシアムClayteam会員の皆様はスムーズに会員移行できるようになっておりますので、ぜひ移行お手続きをお願いします。

一般社団法人Clayteam設立趣意

2003年に産業技術総合研究所で開発された粘土膜はその原料粘土、製膜法、加工法、応用に関して多くの検討が行われてきました。当時は、汎用材としての粘土膜についてはまだその本格的な実用化のために、乗り越えなければならない技術的・経済的課題があり、その課題克服のために、さらなる研究機関・企業の連携が必要でした。連携機能を強化した連携組織によって、強力に粘土膜および無機ナノ素材を生かした材料開発を、多くの分野・業種のものづくりの英知の結集により、加速・実現するため、2008年に「クレスト連絡会」、2010年に産総研コンソーシアムClayteamを設立しました。

産総研コンソーシアムClayteamはその15年間の活動により、粘土関連材料だけでなく、サステナブル社会の実現を志向し、素材の組成・機能・形状を活かしたものづくりである「めぐみものづくり」を広く展開し、多くの成果品を世に生み出してきました。また、分科会活動により国際規格文書の開発も積極的に進め、クレイナノプレートなどの規格文書を出版するなどナノマテリアル分野における日本の存在感と評価を高めました。同時に国内では試験所指定を行うなど、製品認証に向けた土台作りを進めました。しかし産総研コンソーシアムのままでは、製品認証を含む標準化サービスを積極的に展開することが難しい状況にありました。

そこで、一般社団法人Clayteamを立ち上げ、わが国が得意とする先進的・高付加価値材料において、標準化サービスなどを通して係る製品・サービスの市場拡大を図り、関連産業を支援し、さらに強力にイノベーションを推進することにいたしました。

一方、国立研究開発法人産業技術総合研究所東北センターは、地域イノベーションネットワークを強化するための活動の一つとして、Tohoku Activation Panel (通称TAP)と名付けた意見交流の場を2020年から運営してきました。TAPには、東北地域、宮城県の経済、産業に影響のある産学官のリーダーの方々にお集まりいただき、地域活性化のための情報交換とディスカッションを行って、地方創生に繋げることを目指して活動してきました。

TAPでは、生産性向上・人材育成・イノベーションの3つのキーワードに着目して東北地域の現状分析とともに、発展成長に向けた議論やオンサイト活動を行ってきました。未来の東北地域の経済、産業、知の持続的な発展を目指して、議論の集大成として、「東北イノベーション宣言」をとりまとめました。この「東北イノベーション宣言」は、地域の潜在力を最大限に引き出し、持続可能な未来を築くための指針です。

当法人は、先進的・高付加価値材料の製品認証を含む標準化サービスを実施するとともに、「東北イノベーション宣言」に謳われたイノベーションに向けた活動を全国に向けて実施します。具体的には、地域経済を持続的に強化する生産性向上の取組、イノベーションの原動力となる専門家を輩出する人材育成、創造的なアイデアの創成とプロジェクトの支援、などによって関連分野の交流を促進し、わが国のイノベーション創出に貢献します。

当法人の設立趣意にご賛同いただける皆様のご参加をお願いいたします。

令和6年12月吉日 発起人一同

新生Clayteamに期待してください

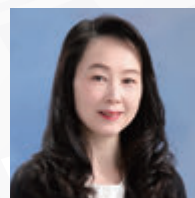
産総研東北センター
所長 蛭名 武雄



産総研コンソーシアムClayteamは15年間に渡り粘土膜などのナノマテリアル開発を、複数社の協奏による「統合開発」によって推進してきました。そしてガスバリア材料、耐熱材料、高耐久性材料などを用いた多くのオンリーワン製品を創出してまいりました。さらにこれに加えてクレイナノプレート製品の認証の準備を進めてきました。今般、産総研コンソーシアムClayteamを一般社団法人化し、認証事業を開始することとしました。新法人はこれまでの産総研コンソーシアムの全ての事業を引き継ぎながら、さらに標準化サービスの対象を、各国との協調の下に、ナノマテリアルを含む先進的・高付加価値材料に広げていく予定です。さらに、地域経済を持続的に強化する生産性向上の取組、イノベーションの原動力となる専門家を輩出する人材育成、創造的なアイデアの創成とプロジェクトの支援などの活動を全国に向けて実施します。これらの活動は我が国の得意とする先進的・高付加価値材料の市場拡大につながるものと期待されます。新生Clayteamへの皆様のご積極的なご参加をお願いします。

一般社団法人Clayteam設立を推薦いたします

東北工芸製作所
常務取締役 佐浦 みどり



Clayteamの設立にあたり、心よりの賛同を表明いたします。2003年の粘土膜技術の開発から、粘土ナノコンポジットという分野は多くの試行錯誤と努力の末に、飛躍的な進展を遂げてきました。

弊社と共同で開発した玉虫塗ナノコンポジットの技術は、宮城県の伝統工芸品の新たな価値を創出し、未来の工芸技術の可能性を広げるものとなりました。

収益性が年々強化され、小規模でありながら総資本経常利益率も毎年好転しているのも、その成果です。

粘土膜を用いたナノコンポジット技術が私たちの伝統技術と融合し、環境負荷を抑えた持続可能な材料の可能性を示唆している点は、次世代の工芸品づくりにおけるイノベーションとして大いに期待されるころです。

Clayteamは、これまでの産総研コンソーシアムの成果を基盤に、さらなる標準化サービスと製品認証を通じて、日本の工芸産業の発展に寄与すると確信しています。

また、東北地域に根差したTAP活動での議論や「東北イノベーション宣言」を踏まえ、地域産業の活性化と次世代の人材育成を目指す取り組みは、地方創生と日本の未来を支える重要な一歩です。当社もその理念に共鳴し、Clayteamの目指す「めぐみものづくり」の実現に向け、共に取り組んでいく所存です。

これからもClayteamが、日本のみならず世界に通用する材料と工芸技術の発展に大いに貢献していくことを期待し、改めて強く推薦いたします。

Clayteamの発展的改組と 未来技術の開拓

東京工科大学
教授・副学長 山下 俊



昨今、日常生活の中で日本の経済力の低下が実感として意識されるようになりました。その背景には日本の国際的な産業競争力や研究力の低下があることは否めません。資源のない日本では未来に向けて先導的な技術開発を推進し続ける必要があります。Clayteamはこれまで粘土膜などの特徴ある技術をコアとして、多様な分野の企業、研究者の協奏により多くの優れた実践的技術開発を達成してきました。このような恵まれた技術協力体制、コミュニケーション環境、活動力をもつ組織は他に例を見ません。Clayteamはさらなる発展を実現すべく一般社団法人化することとなりました。今後本会の活動のさらなる活性化が実現され、皆様の技術開発に一層貢献できるものと期待されます。本会の資産はこれまでの技術の蓄積のみならず、本会の活動に参加しご支援いただいた会員の皆様そのものであるといっても過言でもありません。引き続きClayteamにご参加くださいますようお願いいたします。

一般社団法人Clayteam 設立に寄せて

特定非営利活動法人 natural science
理事 大草 芳江



東北地方で豊富に産し、「千の用途を持つ材料」と言われる粘土を原料とした高機能な膜材料「クレスト」は、既存材料にはない高いガスバリア性と耐熱性を有する膜材料として、産業技術総合研究所東北センターで2003年に誕生しました。その本格的な実用化には乗り越えるべき様々な壁がありましたが、幅広い産業分野で製品化が実現されてきたのも、研究機関と企業が連携し、めげることなく技術的・経済的な課題を突破してきた結果です。ナノに基づく機能を付加価値としたナノテクビジネスは、今後本格的成長を迎えると予想されています。クレストの有するポテンシャルをさらに引き出し、我が国のイノベーション創出に資するべく設立された一般社団法人Clayteamに、ぜひ多くの皆様にご参加されますよう祈念いたしております。

一般社団法人Clayteam 目的と事業

(目的)

この法人は、多くの分野・業種が連携し、情報を共有すると共に、サステナブル社会の実現を志向し、素材の組成・機能・形状を活かしたものづくりを進め、先進的・高付加価値材料並びに関連技術の成果普及と市場形成を図ることを目的とする。この法人はまた、地域経済を持続的に強化する生産性向上、イノベーションの原動力となる専門家を輩出する人材育成、創造的なアイデアの創成とプロジェクトの支援、などによってわが国のイノベーション創出に貢献し、関連分野の交流を促進することを目的とする。

(事業)

この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 先進的・高付加価値材料に関する技術指導
- (2) 先進的・高付加価値材料に関する技術移転の推進
- (3) 先進的・高付加価値材料に関する情報の収集と調査及びその普及
- (4) 先進的・高付加価値材料に関するサンプルライブラリーの構築とサンプルライブラリーに関する情報の提供
- (5) 先進的・高付加価値材料に関するセミナー等の開催
- (6) 先進的・高付加価値材料に関する標準化関連活動及び認証
- (7) 展示会出展及び広報活動
- (8) 産学官連携推進活動
- (9) 人材育成活動
- (10) 産業財産権に関する指導
- (11) イベント企画運営及び出版活動
- (12) その他、この法人の目的を達成するために必要な事項

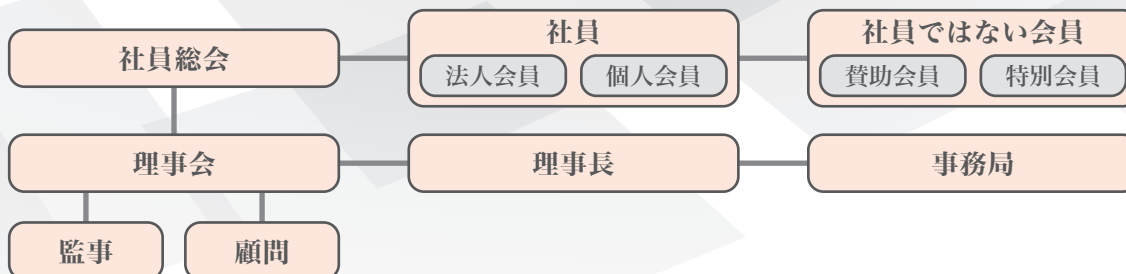
ものづくりをリードする Clayteamへの招待

森林総研 新素材研究拠点
拠点長 山田 竜彦



高い機能をもつユニークな粘土膜が蛸名博士により開発され、それを含む様々なものづくりをサポートする組織としてClayteamは活動を続けました。そして今、一般社団法人として新たな段階へ入るところにあります。ものづくりは日本のお家芸と言われるが、蛸名博士の提唱する「めぐみものづくり」とは、環境負荷の少ない持続的なものづくりとのか、すべての材料開発に必要なことと思います。自然の恵みとは、よく観察することで、与えられていることに気づかされ、そして、創意工夫により、無機・有機材料ともに高い次元で活用できるようになります。日本発の材料が世界をリードするプロセスをClayteamで体感しましょう。

一般社団法人Clayteam 組織図

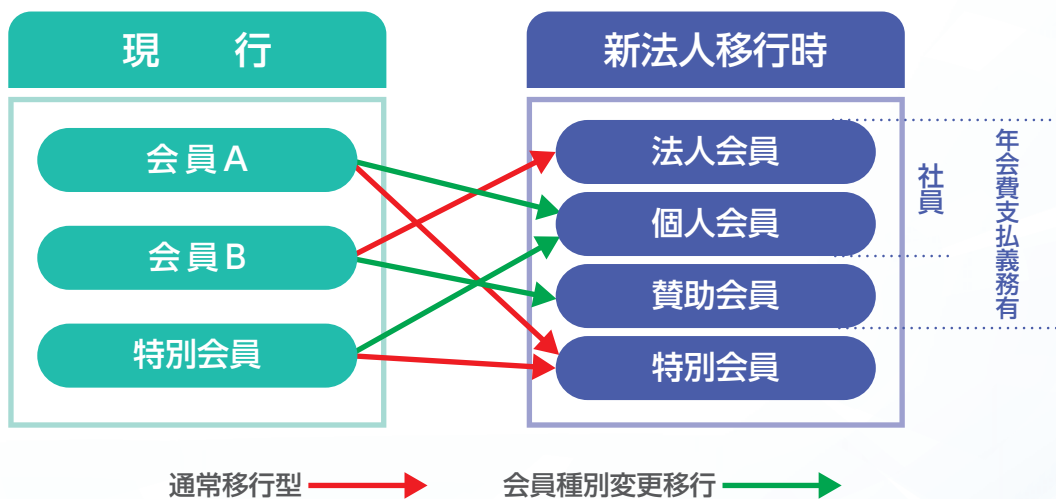


通常型移行

▶ 会員Aは新法人の特別会員に、会員Bは新法人の法人会員に、特別会員は新法人の特別会員になる場合

会員種別変更移行

▶ 会員Aから個人会員に、会員Bから賛助会員に、特別会員が個人会員になる場合



会員種別と受けられるサービス

*大企業20万円、中小企業10万円

会員種別	年会費	総会参加	情報発信	分科会	粘土ライブラリ	研修	会員向けセミナー
法人会員	20/10万円*	○	○	○	○	○	○
個人会員	5000円	○	○	○	○	○	○
賛助会員	50/20/10万円		○	○	○	○	○
特別会員	0円						○

賛助会員種別と受けられるサービス

会員種別	年会費	対象	ウェブページロゴ掲載	印刷物広告	懇親会参加
賛助会員A プラチナ	50万円	中小企業/大企業	○	○	無料
賛助会員B ゴールド	20万円	中小企業/大企業	○		有料
賛助会員C シルバー	10万円	中小企業			有料

お問い合わせ先

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 Clayteam事務局

✉ clayteam-aist-ml@aist.go.jp TEL.050-3522-8276

〒983-8551 宮城県仙台市宮城野区苦竹4-2-1
産業技術総合研究所 東北センター OSL棟02304室 (2024.11.14現在)

